

ファミリー・サポート・センターだより

～楽しく過ごせるように
サポート用の部屋を用意しています～



週に1～2回、私の自宅でお預かりしています。
私の娘が居る時は、一緒に楽しく遊んで仲の良い姉妹のようです。
娘と同様、日々の成長が楽しみなサポートです。

協力会員Iさん

安全・安心なサポートのために！

サポートをする時、受ける時はお互いの気配りが大切です。

協力会員

- お子さんを預かったら、サポートに集中しましょう。
- サポートする部屋には危険なものを置かないようにし、大切な物は片付けましょう。(安全チェックリストを見て確認)
- 送迎サポートは時間に余裕をもって出発しましょう。(渋滞、雪道、いつもと違う道順などは注意)
- 何となくだるい時(風邪気味、鼻水、咳、微熱等)や薬を飲んだ時はサポートを控えましょう。

依頼会員

- 依頼日前日に、時間や持ち物の確認をしましょう。
- サポートを受ける日は子どもにしっかり意識づけましょう。
- 送迎サポートの場合は、待ち合わせ場所に必ずいること、車の中での約束を守ることなどを言い聞かせましょう。
- 子どもの様子がいつもと違うとき(食欲がない、機嫌がよくない等)は協力会員に伝えましょう。

あなたならどうしますか？

送迎サポートで迎えに行ったのに、子どもがいない！

学童クラブへ子どもを迎えに行ったら、子どもがいなかった。指導員や友達にたずねても誰も分からない。

母親は仕事で連絡がとれず、依頼会員宅へ行ったが、子どもは帰宅していなかった。どこを探しようもなく車で待っていたが、母親の許可を得て協力会員は自宅へ戻った。

しばらくして子どもの所在が明らかになり、友達の家へ遊びに行っていたことがわかった。

原因

依頼会員

- ・子どもに協力会員が迎えに来る日であることを伝え、学童クラブで待つことを言い聞かせていなかった。
- ・学童クラブの指導員にサポート予定を連絡していなかった。

協力会員

- ・保護者と必ず連絡がとれるように複数の連絡先を控えていなかった。

予防策

依頼会員

- ・子どもに「今日は協力会員の A さんが迎えに来るから、友だちの家に遊びに行かない」ことを言い聞かせる。
- ・友達に誘われても「今日は、遊べない」と伝えることを約束する。
- ・学童クラブの指導員にスケジュール表を渡しサポート当日朝も確認の電話をする。
- ・送迎サポート中の時間帯は、仕事中でも携帯電話が取れるようにする。

協力会員

- ・援助活動中は、「予測できないことが発生するかもしれない」という危機感を持つ。
- ・同じことが繰り返されるようであれば、サポートはできないことを依頼会員に伝える。

兄弟の送迎中、兄が先に降りて走り出す！

兄弟(6歳と1歳)を車で保育園に送迎サポート中の事。

アパートの駐車場に到着した際、兄が先に降りたがった為、兄弟のチャイルドシートを外し兄から降ろした。兄は突然走り出してしまった。

慌てて弟のチャイルドシートを装着し直し、兄を追いかけた。

原因

依頼会員

- ・「車に乗ったら、協力会員の言うことを守る」と兄に言い聞かせていなかった。

協力会員

- ・兄のわがままを受け入れ、先に降ろしてしまった。
- ・「大丈夫だろう」という、気持ちがあった。

予防策

依頼会員

- ・子どもの良いところや気になる行動(急に走り出す、転びやすい、聞こえづらい等)を協力会員に事前に伝えておく。
- ・家でも、協力会員の話をよく聞くように言い聞かせる

協力会員

- ・どのような時でも、子どもだけを先に降ろさない。
- ・嫌がられても、安全第一でしっかりと手をつなぐことを徹底する。

会員登録はしたけれど、

いつ、どう利用したらよいかわからないと迷っている方!

依頼状況、依頼内容に合わせていろいろなサポートをしています。ちょっと助けてほしい時、気軽にご相談ください。

依頼会員の声 (こんな時利用しています)

依頼会員 Mさん

Kちゃん(7歳)、Kちゃん(3歳)

2人目出産後に体調を崩すことが多くなり、サポートを利用する事になりました。

自宅に来てもらい子どもの遊び相手や食事の世話をお願いしています。

実母は他界し実父は入院中、育児を頼る相手がない私はファミリーサポートで身体的、精神的な負担を減らしてもらっています。

協力会員のKさんには実母のように相談にのってもらい、急な用事で預ける時も快く対応してくださり、とても感謝しています。

依頼会員 Sさん

Rちゃん(7歳)、Aちゃん(2歳)

4年前の春に転勤で富山に来ました。

仕事がサービス業なので、土日に子どもを預かってもらえるところを探したところファミリーサポートを知りました。毎月1回から多い時は毎週末利用しています。学童・保育施設の送迎、多忙な時は準備した食事の介助もお願いしています。

子ども達は協力会員のHさんとは実の祖父母より会っているので富山の祖父母だと思っています。

富山に頼れる知人がいないので、Hさんは母のような心強い存在です。



作ってみませんか

「あおむし」

用意するもの

- ★(胴体)深緑、黄緑、黄各8枚
- ★(顔パーツ)顔(赤)、目(黄・緑)
触角(紫)、鼻(黒)



あおむしの胴体がのびたり縮んだりして面白いです。

あおむしの折り方

*折り紙を4分の1に切る

(作りたいあおむしの大きさに合わせて折り紙の大きさを変えたり、パーツの数を多くすると長くすることができる)

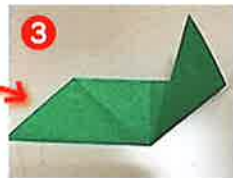
<パーツ作り>



1 折り紙を三角に折って折線をつける



2 中心点を合わせて折る



3 ②を内側に折る



4 ③の中央にあわせ合わせて折る。右前折をして裏返し右前に折る。左前折は右とは逆に折る。



5 右前折と左前折を2枚ずつ作る。

<パーツ組立>



6 パーツ完成!
(実際は各色8枚ずつ)



7 右手前(黄)に左前折(黄緑)を差し込む



8 外側(写真では黄パーツ)の爪を黄緑内側に折り込む



9 折り紙の色を変えながら右前→左前→右前と繰り返して重ねていく。
*先端に顔や角を糊付ける

※「折り紙で作る動くはらぺこあおむし」参考

センターからのお願い



全会員のみなさんへ

○個人情報の取り扱いについて

事前打合せやサポート中に知り得た個人情報を他の人に話すことや、サポート中の様子を無断でSNSに投稿することは決してしないでください。

○会員の登録内容変更について

新年度になり、登録内容(住所、電話番号、子どもの誕生、入園、入学など)に変更がありましたら、センターに必ず連絡してください。

○退会について

下記に該当する方は**退会**とさせていただきます。

- ・郵便物が宛所不明で返送され、連絡不通の場合。
- ・一番下のお子さんが小学校を卒業した依頼会員。

(両方会員は協力会員に変更します。変更を希望されない場合は退会手続きをお願いします。)



協力会員のみなさんへ

- ・万が一の事故や災害に備えて緊急連絡先を確認しておきましょう。(依頼者・本部・チーフアドバイザー)

- ・救急救命講習をまだ1度も受講していない方は、受講が必要です。



- ・自家用車を使用して送迎サポートをしている方は、毎年『私有車・運転者許可書』の提出をお願いします。

- ・活動報告書の提出期限は、翌月5日までです。遅れる場合には必ずセンターに連絡をお願いします。

依頼会員のみなさんへ

- ・事前打合せ実施後は、協力会員に直接サポートの依頼ができますが、サポートが決まったらセンターへ連絡してください。

- ・定期的なサポートの場合は、翌月の予定を連絡してください。また、サポートを終了する場合もセンターに連絡してください。

- ・サポートが不要になった場合は、できるだけ早く協力会員に伝えましょう。また、センターにも連絡してください。

協力会員募集中

協力会員さんが不足しています。友達やお知り合いの方をお誘いください。子育てに関する専門性を高めるために5月から開講予定の養成講座の受講をお願いします。

お問い合わせ 富山市ファミリー・サポート・センター

本部	富山市新富町一丁目2番3号CiC4階	TEL 076-432-7212 FAX 076-432-7214
大沢野・大山支部	富山市春日96番地1(富山市大沢野健康福祉センター内)	TEL 076-467-5232 FAX 076-467-5232
(大山窓口)	富山市上滝525番地(富山市大山行政サービスセンター地域福祉課)	TEL 076-483-1214 FAX 076-483-3081
婦中・八尾支部	富山市婦中町速星754番地(富山市婦中行政サービスセンター内)	TEL 076-465-3050 FAX 076-465-3050
(八尾窓口)	富山市八尾町福島151番地(富山市八尾行政サービスセンター地域福祉課)	TEL 076-455-2461 FAX 076-455-2001

